



Title	日本語・日本文化 第23号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 1997, 23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21543
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介（掲載順）

伊藤 智博	本センター非常勤講師
岸田 泰浩	本センター助手
莊司 育子	本センター助手
廣内 裕子	本センター非常勤講師
渡辺 史央	本センター非常勤講師
石原 嘉人	本センター講師
加藤 均	本センター講師
水田 明男	本センター助教授
福本 節子	本センター非常勤講師
山本 進	本センター助教授

編集後記

今年1月31日、待望の教育・研究棟が竣工した。年度末には全面的な移転の予定である。1954年に開設された留学生別科を前身として、本センターが誕生したのは1991年4月。それから5年余、今では専任教官18名（来春採用予定者を含む）、非常科教官100名を擁する一大予備教育機関にまで成長を遂げた。そして、今度の新センター棟完成である。

新たな環境のもとで我々は何をなすべきか。言うまでもなく、それは教育・研究におけるソフト面の充実である。すでに「日本語教材開発のための基礎的データベース構築」、「日本語既習者教育プログラム研究」、「学部移行期カリキュラム研究」といったプロジェクトが発足し、活動を続けているが、センター教官一人一人が日頃の研究を公表する場もまた不可欠である。そこに本誌の存在理由がある。

今号（23号）より、装丁を一新したのは、新棟完成を機にセンター教官の研究活動がより一層推進されるよう念じてのことである。

喜ばしいことに、投稿数は例年より多く20点を超えた。いずれも好論文であったが、

紙幅の都合上、編集委員会で検討を重ねた結果、研究論文5点、研究ノート4点の計9論稿を選ばせていただいた。

また、今号ではハワイ大学イーストウェストセンターに文部省在外研究員として出張中であった山本助教授に「ハワイ大学の日本語教育について」と題した調査報告の執筆を依頼した。帰国準備であわただしい中、寄稿してくださった氏に感謝したい。

(H.K)

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及びセンター学術出版委員会において適当と認められた者。
2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告。
3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5. 採否：原稿の採否はセンター学術出版委員会（『日本語・日本文化』編集委員会）が決定。

日本語・日本文化 第23号

1997年3月30日 発行

編集 大阪外国语大学
発行 留学生日本語教育センター
〒562箕面市粟生間谷東8-1-1
電話 (0727) 30-5459
FAX (0727) 30-5074
印刷 中西印刷株式会社